

**紛争関連の性的暴力生存者のためのグローバル基金（GSF）との共催
サイドイベントにおける
林外務大臣ビデオ・メッセージ**

御出席の皆様、日本国外務大臣の林芳正です。本年もまた、「紛争関連の性的暴力生存者のためのグローバル基金」と共に、紛争下の性的暴力の被害者や生存者の置かれた状況について理解を深めるためのイベントを共催でき嬉しく思います。

新型コロナの感染拡大により、紛争下の性的暴力の生存者の方々はより深刻な影響を受けたとされています。特に、ロシアのいわれのない不当な攻撃に苦しむウクライナでは多くの女性や子供たちが耐え難い悲劇に直面しています。こうした状況を我々は決して看過してはなりません。

紛争下における性的暴力は重大な人権侵害です。紛争下で性的暴力の被害にあった犠牲者や生存者の方々は、暴力によって名誉と尊厳が深く傷つけられます。それは、生存者の方々の経済的な自立も妨げてきました。そうした生存者の方々のために立ち上がったムクウェゲ医師とムラド女史、そして、支援に尽力される全ての方々に改めて敬意を表したいと思います。

日本は、この基金の趣旨に当初より賛同しています。このほど、200万ユーロを追加拠出し、これまでに計600万ユーロを拠出しました。更に理事国としてその運営に積極的に関与してきました。また、紛争下の性的暴力担当国連事務総長特別代表事務所が有する紛争下の性的暴力関連のプロジェクトにも資金を拠出し、加害者を処罰する仕組みづくりに貢献しています。

紛争関連の性的暴力生存者を支援プロセスの中心に捉え、心身共に大きな傷を負い、今まさに苦しんでいる方々に寄り添い、支援することが極めて重要です。紛争下での性的暴力をなくすため、今後も関係する皆さまと連携しつつ、様々な支援を続けていく所存です。

本日のイベントが、多くの人々にとって、紛争下の性的暴力の生存者たちの孤立を防ぐことや、経済的にも自立することの重要性を思い起こすきっかけとなり、全ての人にとって、より良く、明るい未来への道を照らす重要な機会となることを祈念しております。

御清聴ありがとうございました。